令和8年度　事務事業評価シート（1）
[令和7年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	送迎保育ステーション事業					事業番号	014-126
担当部署名	こども青少年局	局	子育て支援部	部	幼保政策課		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1)妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	保育所等待機児童数		
			有	現状値	11人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2
			有	取組	幼児教育・保育施設の待機児童解消に向けた受入枠の確保		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	令和　2　年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和　12　年度
4	実施根拠	堺市送迎保育ステーション事業運営経費補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	送迎保育ステーション事業を実施する社会福祉法人	対象数	単位
			1	施設
7	事業の目的	ジョルノ（堺区三国ヶ丘御幸通154番）（以下「ジョルノ」という。）に設置した送迎保育ステーションから、令和４年に美原区に設置した幼保連携型認定こども園へ送迎を行うことで、待機児童の解消及び利用者満足度の向上に寄与することを目的とする。		
8	事業内容	民間保育事業者が、ジョルノに設置した送迎保育ステーションから、令和４年に美原区に設置した幼保連携型認定こども園へバスでこどもを送迎するのに必要な費用（保育士雇上費、運転手雇上費、施設等運営等経費）の一部を補助する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	―		
9	主な支出先	社会福祉法人		
10	公民連携・協働事業	―		

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度（堺市基本計画2030）
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	保育所等待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0		
			達成率	―	―		
	当該指標を選定した理由	保育所等待機児童の解消を目的として当該事業を開始したものであり、今後は保育所等待機児童数0人の維持をめざすため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	保育所等未利用者から特定保育所等への入所を希望している者などを除外					

	活動指標	単位		実績		目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
12	利用児童数	人	目標値	33	33	33
			実績値	12	15	
			達成率	36%	45%	
	当該指標を選定した理由	ジョルノから美原区の認定こども園に、バスでこどもを送迎することで保育所等待機児童数0人の維持をめざすため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	本事業の利用上限を33人と設定している。				

令和8年度　事務事業評価シート（2）

事務事業名	送迎保育ステーション事業	事業番号	014-126

Ⅲ．投入量

事業コスト　　※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。　　（単位：千円）

	項　目		令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
13	事業費（a）		13,000	12,960	13,000	11,412	13,000
	財源内訳	国支出金	6,500	6,479	6,500	5,706	6,500
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他　（　　）	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	6,500	6,481	6,500	5,706	6,500
14	人件費　（b）		2,430	2,430	2,520	2,520	2,610
15	年間経費（c）=（a）+（b）		15,430	15,390	15,520	13,932	15,610

事業費の内訳　　（単位：千円）

		項　目	年度		事業費	うち一般財源	項　目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	堺市送迎保育ステーション事業運営経費補助金	R7	決算	11,412	5,706		R7	決算		
			R8	予算	13,000	6,500		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		

Ⅳ．事業の効率性

単位当たり経費

		区　分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	利用児童	人	12	15
	②	上記①にかかる年間経費	千円	15,390	13,932
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,282,500	928,800
	算出についての説明等				

Ⅴ．評価

費用対効果に係る所見

18　令和４年度は事業実施初年度であったため利用児童数は２人にとどまったが、令和７年度は１５人となり、徐々に利用児童数は増加している。
今後も、徐々に利用児童数は増加していくと見込まれるため、それに伴い単位当たり経費は下降していくと考えられる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19　ジョルノに設置した送迎保育ステーションから、令和４年に美原区に設置した幼保連携型認定こども園へ送迎を行うことで、昨年度に引き続き待機児童０人の達成に寄与することができた。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	ジョルノが所在する地域は就学前児童数が多く、本事業の利用児童数も増加傾向にあり、送迎保育ステーションから美原区の幼保連携型認定こども園への送迎を実施することで、待機児童数ゼロの維持及び利用者満足度の向上に寄与してきた。
	有効性	■ 高い □ 低い	保育の利用申込数が増加傾向にある中においても、待機児童数ゼロを実現し、利用者満足度の維持・向上に、本事業は有効かつ必要と考える。